

令和4年度事業報告

通所リハビリテーション

基本方針に対する 達成状況	まずは、最初に、新型コロナウイルス感染へのリスクを抱えながらも、最前線で日頃より奮闘した通所職員には、心から敬意と感謝をしたい。また、「安心と信頼」、「笑顔とチームワーク」があったからこそ、令和4年度の苦難を乗り越えることができた。引き続き、運営理念を深く心に刻み、業務を遂行していきたい。
重点項目に対する 達成状況	職員の人材育成と、職場環境の改善を目指したが、転倒事故の事故処理、利用者家族の苦情対応、人員欠如減算の対応に追われ、上記の目標は十分な成果を上げられなかった。通所の売りである、職員の気配り・察することができる心遣いを信条とした入浴、医学的根拠に基づいたセラピストのリハビリは今年度も利用者・家族より好評であった。地域の居宅支援事業所から新規利用者の依頼が絶えないように引き続き、なんでも相談できる関係作りを継続していく。
稼働目標に対する 達成状況	新型コロナウイルスが発生して今年度は3年目となる。過去2年間、通所において1度も発生がなく、感染者はゼロであった。今年度は入所にてクラスターの発生、職員・利用者の感染により通所でも新型コロナウイルスが発生してしまい、感染蔓延時に利用を控える利用者が特に増えてしまう。また、人員欠如減算もあり、収入が落ち込み苦しい経営状況となった。
予算執行状況	令和4年度は予算に比べ、新型コロナウイルスの影響により、収入が大きく減ってしまった。令和5年度は新型コロナウイルスが第5類感染症に変更になるに連れ、通常営業に戻し、収入アップを目指す。
事業およびサービス 目標に対する達成 状況	今の職員人数で利用者の満足度向上のため、できるサービスを精一杯行い、通所サービスの質の向上を目指したが、令和4年度は中止利用者が30名（施設入所、死去20名、他サービス移行10名）と多かった。他サービス移行利用者の中止理由は、新型コロナで大きなレクリエーションの中止、カラオケなど大きな声が出せないなどの影響で、つまらないという声が多かった。人材育成については、日頃より、「態度・言葉使い」には注意するように全職員に伝えてきた。職員が安心して業務ができるように管理者として、働きやすい環境作りに力を入れながら、令和5年度も「態度・言葉使い」には気をつけるように声を掛けていきたい。
その他事業計画に 対する達成状況	令和4年度もリハビリ職員の補充ができず、リハビリテーションマネジメント加算の算定できなかった。通所リハビリテーションとして算定できる加算を検討していく。

月平均稼働

月	定員	稼働目標	稼働実績	備考欄
4月	24人	21人	18人	入所にて新型コロナクラスター発生
5月	24人	21人	19人	
6月	24人	21人	20人	
7月	24人	21人	18人	
8月	24人	21人	17人	職員・利用者より新型コロナ発生
9月	24人	21人	17人	
10月	24人	21人	19人	人員欠如減算
11月	24人	21人	19人	人員欠如減算
12月	24人	21人	18人	
1月	24人	21人	19人	人員欠如減算
2月	24人	21人	18人	職員・利用者より新型コロナ発生
3月	24人	21人	18人	

利用者別の内訳

月	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計
4月	7	12	7	17	15	4	1	0	63
5月	7	12	7	17	13	4	1	0	61
6月	7	12	7	21	13	4	2	0	66
7月	5	12	7	21	13	7	2	0	67
8月	7	12	7	24	11	8	2	0	71
9月	4	12	9	22	11	8	2	0	68
10月	3	13	10	20	11	9	2	0	68
11月	4	12	10	19	13	9	2	0	69
12月	4	12	10	19	12	9	3	0	69
1月	5	12	9	21	11	8	2	0	68
2月	5	10	8	19	11	9	1	0	63
3月	5	11	10	18	12	9	1	0	66

年間行事等の報告

4月	お花見
5月	端午の節句
6月	
7月	七夕
8月	
9月	敬老会
10月	
11月	節分
12月	クリスマス会
1月	新年会
2月	節分
3月	